

2026年度 入学者用 奨学生採用までの流れ・進学届入力下書き用紙【大学院予約】

この資料は、採用候補者決定通知の見方等を記載しています。この資料を読みながら、交付された「2026年度大学院奨学生採用候補者決定通知」に記載されている選考結果及び採用候補者となった奨学金の内容を確認してください。

JASSO ホームページ

○大学院奨学生採用候補者（予約採用）に決定された方へ



https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/yoyaku/1214734_1914.html

1. 採用候補者に決定してから奨学生採用までの流れ

採用候補者に決定された方で奨学金を希望する場合は、大学院へ進学後に手続きが必要です。奨学生採用までの流れを確認しましょう。なお、詳細な内容はJASSO ホームページ掲載の「2026年度大学院奨学生 採用候補者の皆さんへ」に記載しています。ページ番号も記載していますので、併せてご確認ください。

①採用候補者決定

②決定内容を確認する

[皆さんへ] 3～4ページ

- 採用候補者決定通知の確認
- 奨学金の種類と金額

③進学までに準備をする

[皆さんへ] 7～12ページ

- あなた（本人）名義の奨学金振込口座の準備
- 保証制度の利用に向けて理解しておくこと
- 「入学時特別増額貸与奨学金」の手続き（該当者）
- 労働金庫の「入学時必要資金融資」の手続き（該当者）

④進学後の手続き

[皆さんへ] 13～15ページ

- 採用候補者決定通知【提出用】（必要事項を記入）、必要書類の提出
- 「進学届」の提出に必要な識別番号（ユーザID・パスワード）の受け取り
- スカラネット（インターネット）から「進学届」の提出

⑤奨学生として採用・通知

[皆さんへ] 16～23ページ

2. 採用候補者決定通知を紛失した場合

奨学金の申込みをしたスカラネット（インターネット）から「簡易版」を印刷することができます。簡易版も進学後の手続きに有効な書類として利用できます。簡易版の印刷方法は「採用候補者の皆さんへ」5～6ページに記載しています。

おぼえ書き									
氏 名				学籍番号					
進学先の大学院に確認してください									
ユーザID（8ケタ）				パスワード（8ケタ）				進学届提出用パスワード (採用候補者決定通知【本人保管用】に印字されています)	
メールアドレス（初回ログイン時に登録したもの）				申込ID					
				YM		2 5			
提出期限	2026年 月 日 ()			初回交付日 (予定)	2026年 月 日 ()				

※進学届の提出期限については、進学先の大学院に確認し、大学院が指定する期日を記入してください。

3. 大学院奨学生採用候補者決定通知の見方

「決定通知」に記載されている内容を確認しましょう（決定通知は、「提出用」と「本人保管用」がありますが、ここでは「本人保管用」を表示しています）。

この通知は、進学後の手続きに必要な重要なものです。紛失しないよう大切に保管してください。				
2026年度大学院奨学生採用候補者決定通知【本人保管用】				
2025年12月17日				
①	登録番号	10999001-6-0001		
②	氏名	学校用 見本 (ガツコウヨ ミン)	様 独立行政法人 日本学生支援機構	
(印影印刷)				
あなたは、下記のとおり2026年度大学院奨学生採用候補者として決定しましたので通知します。 採用候補者決定通知の注意事項等をよく読み、手続き漏れ等のないようにしてください。				
記				
1. 選考結果				
		ア〜ウのうち、「○」が記載されているものを1つだけ選択できます		
		ア：併用貸与(※1)	イ：第一種奨学金又は 授業料後払い制度(※2)	ウ：第二種奨学金
③	選考結果 (※3)	—	○	○
※1 併用貸与とは、第一種奨学金又は授業料後払い制度と第二種奨学金の両方の貸与を受けることを表します。 ※2 授業料後払い制度を利用できるのは、修士課程相当に限ります。 ※3 「—」は不採用又は申込時に希望していないため未判定であることを表します。				
2. 採用候補者となった奨学金の内容について				
		第一種奨学金又は 授業料後払い制度 (無利子)	第二種奨学金 (有利子)	入学時特別増額貸与奨学金 (有利子)
④	利用条件	いずれか一方の利用可 日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込：必要		
⑤	申込時の 選択内容 (注1)	種類	第一種奨学金	
		貸与額(注2)	月額：88,000円	月額：80,000円 一時金：500,000円
		返還方式(注1)	所得連動返還方式	定額返還方式 定額返還方式
		保証制度(注1)	機関保証	機関保証 機関保証
	利率の算定方法		利率見直し方式 利率見直し方式	
⑥	進学予定先の大学院・課程 (注3)	イクシス大学 修士・博士前期課程		
⑦	進学届提出用パスワード(半角入力) ※ 進学後の手続きに必要になります。		AB3DE8HGZZ	
※「進学届提出用パスワード」の管理には十分注意してください。本通知を紛失した場合は、奨学金の支払い開始が遅くなります。				
今後の必要手続き等については裏面の「注意事項」及び「採用候補者の皆さんへ」にて確認してください。				

101-0000001#

項目	説明
①登録番号	採用候補者に付与される番号です。
②氏名	氏名が正しいことを確認してください。 氏名に変更等がある場合は、進学後、進学先で改氏名の手続きを行ってください（「皆さんへ」15ページ）。カナ氏名は大文字と小文字の区別をつけていないため、 <u>訂正の必要はありません</u> 。例）「ショウガク」と入力 ⇒ 「シヨウガク」と表記
③選考結果	奨学金の種類ごとに、採用候補者として「候補者決定」したか、採用候補者とならず「不採用」であったかを記載しています。
④採用候補者となった奨学金の内容	採用候補者として決定した奨学金の内容です。 貸与奨学金は「第一種奨学金又は授業料後払い制度のみ利用可」・「第二種奨学金のみ利用可」・「併用貸与の利用可」・「第一種奨学金又は授業料後払い制度もしくは第二種奨学金のいずれか一方の利用可」となります。
⑤申込時の選択内容	申込時に選択した貸与額・返還方式・保証制度・利率の算定方法です。 ※利率の算定方法は第二種奨学金又は入学時特別増額貸与奨学金の採用候補者になった方について記載されています。
⑥進学予定先	決定通知に記載のある大学院・課程以外に進学した場合は進学届の提出はできません（決定通知は無効になります）。
⑦進学届提出用パスワード	パスワードは【本人保管用】にのみ記載されています。 「進学届」の提出に必要ですので、管理には十分注意してください。

4. 入学時特別増額貸与奨学金の利用条件（該当者）

[皆さんへ]10ページ

入学時特別増額貸与奨学金は、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を申込み、審査の結果、利用できなかった世帯の学生または日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を申込みしようとしたが、申込要件を満たさず、申込みなかった世帯の学生に貸与するものです。

「採用候補者決定通知」の「2. 採用候補者となった奨学金の内容について」の「入学時特別増額貸与奨学金（有利子）」の欄に、「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込：必要」と記載がある人は、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込み手続きをしてください。手続きの詳細は、同封の「日本政策金融公庫のお手続きが必要な方へ」をご確認ください。

「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込：不要」と記載がある人は、日本政策金融公庫への申込みは省略できます。

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/yoyaku/1214734_1914.html



5. 労働金庫（ろうきん）の「入学時必要資金融資」（該当者）

[皆さんへ]12ページ

ろうきんでは、「入学時特別増額貸与奨学金」の採用候補者となった人（「採用候補者決定通知」の「2. 採用候補者となった奨学金の内容について」の「入学時特別増額貸与奨学金（有利子）」の欄に、「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込：不要（又は必要）」と記載がある人）を対象に、「入学時特別増額貸与奨学金」の金額の範囲内で入学時に進学先に支払う教育資金（入学金、授業料）に限り融資する「つなぎ融資」を取り扱っています。「つなぎ融資」の利用を検討する人は、以下の JASSO ホームページに掲載の「入学時必要資金融資のご案内」をご確認ください。

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/yoyaku/1214734_1914.html

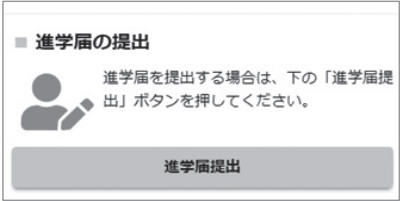


下書き用紙に示している進学届の内容は2025年12月現在のものであり、実際の入力画面とは異なる場合があります

2026年度入学用 進学届入力下書き用紙（大学院用）

次の手順に従って「進学届」の入力等を行ってください。

手順 1	◎ 次の書類を用意してください。書類の詳細は「採用候補者の皆さんへ」の13ページをご参照ください。 ◆※ 印は必ず手元に用意してください。 ※ 採用候補者決定通知 ※ 「進学届入力下書き用紙」（本冊子） ※ 本人通帳のコピー ・ 在留資格等の証明書類（対象者のみ） ・ 学生本人の「住民票」（申込時にマイナンバーを提出していない場合のみ） ・（機関保証の場合）本人以外の連絡先がわかるもの ・（人的保証の場合）連帯保証人の印鑑登録証明書 ・（人的保証の場合）連帯保証人の収入に関する証明書類 ・（人的保証の場合）保証人の印鑑登録証明書 ・（人的保証の場合で例外に該当する人を選任する場合）選任する人の資産等に関する証明書類 ※（返還免除内定制度に申し込んだ場合）申込完了画面のコピー等受付番号がわかるもの ・（入学時特別増額貸与奨学金を希望し、採用候補者決定通知に「国の教育ローン」の申込：必要と記載がある場合）日本政策金融公庫に「国の教育ローン」を申込みしたが、融資を受けられなかった場合、あなたの保護者等が「日本政策金融公庫から受領した『融資できない旨が記載された日本政策金融公庫発行の通知文』の日付」又は「国の教育ローンに申込みできないことを日本政策金融公庫に確認した日付」がわかるもの
手順 2	◎ 進学届提出用のホームページにアクセス ※ 進学先の大学院から「ユーザID」と「パスワード」を受け取って、次のアドレスにアクセスしてください。 進学届提出用ホームページアドレス https://www.sas.jasso.go.jp/ ・ 受付時間 8:00～25:00（最終締切日の受付時間は8:00～24:00） ※ 受付時間を過ぎるとログインできなくなります。余裕をもって入力を開始してください（入力時間の目安：30分～1時間）。 ・ スカラネットの動作環境は、以下を前提としています。 【パソコン】OS：Windows 11／ブラウザ：Microsoft Edge 【モバイル端末】OS：iOS 17以上、iPadOS 17以上、Android 13以上 ブラウザ：Mobile Safari、Android用モバイル版 Google Chrome （注1）フィーチャーフォンには対応していません。 （注2）アップル社が販売しているmacOSを搭載するコンピュータについては未確認です。
手順 3	奨学金申込みのためにスカラネットに初めてログインされる方は「○奨学金の新規申込・進学届の提出」を、初回ログインが完了されている方は「○ログイン（アカウント情報登録済の人）」をクリックしてください。 ◎ 奨学金の新規申込・進学届の提出 ◆ 申込内容の選択 申込種別を選択してください ☐ 予約採用の申込 → 進学前に申し込む（進学先で奨学金を希望する場合） ☐ 在学採用の申込 → 進学後に申し込む（在学している学校で奨学金を希望する場合） ◎ 進学届の提出 → 予約採用の採用候補者に決定済で進学した場合 進学した学校を選択してください ☐ 大学等 → 大学等（大学・短大・高専・専修専門）に進学した場合 ◎ 大学院 → 大学院・法科大学院に進学した場合 申込画面へ ■ 奨学金の新規申込・進学届の提出 ① 「奨学金の新規申込・進学届の提出」を選択してください。 ② 申込種別の選択で「進学届の提出」を選択してください。 ③ 進学した学校を選択では「大学院」を選択してください。 ④ 「申込画面へ」を押してください。 【注意！】 ※ 各画面は30分以内に入力してください。30分を超えると自動的にタイムアウトとなります。 ※ 入力について分からないことがある場合は、日本学生支援機構のホームページの「よくある質問」を参考にしてください。
手順 4	■ 進学届個人別ログイン画面 進学届個人別ログイン ログイン 「採用候補者決定通知」に印字されている進学届提出用パスワードを入力して、下の「次へ」ボタンを押してください。 （注）パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。 進学届提出用パスワード 次の画面に進みます。下の「次へ」ボタンを押してください。 次へ 採用候補者決定通知【本人保管用】に記載の「進学届提出用パスワード」を入力し、「次へ」ボタンを押してください。 ■ メールアドレスの確認 メールアドレスの確認 ○ メールアドレスの確認 大学院予約の申込時に登録されたメールアドレス：kiko.manabu@jasso.go.jp ☐ 登録済のメールアドレスを使用する ☐ 新しいメールアドレスを登録する 認証コードを送信します。下の「送信」ボタンを押してください。 送信 大学院予約の申込時に登録したメールアドレスが表示されます。「登録済のメールアドレスを使用する」を選択し、「送信」ボタンを押します。登録したメールアドレスに届いた認証コードを入力してください。なお、「新しいメールアドレスを登録する」を選択した場合は、メールアドレスの登録画面に進みます。画面の指示に従って入力を進めてください。

手順 5	■ アカウント情報確認 	メールアドレスと申込IDがセットで表示されますので、必ず本冊子の表紙に書き写しておいてください。「次へ」ボタンを押すと、次の画面に進みます。 ※スカラネットへの2回目以降のログインに申込IDを使用します。 ※申込IDは「YM25」で始まる10桁の英数字です。大学院予約に申請した際の「奨学金確認書兼地方税同意書」の申込IDと同じです。
手順 6	■ 識別番号入力 	進学先の大学院から交付されたユーザID（8ケタ）とパスワードを入力し、「次へ」ボタンを押してください。 【注意！】パスワードの入力を連続して3回誤ると画面が閉じられます。その場合は、「手順2」からやり直してください。
手順 7	■ 進学届提出 	アカウント情報の登録を完了した後、進学届提出メニューで「進学届提出」ボタンを押して、進学届の提出を開始します。 
手順 8	STEP1 奨学金確認書兼地方税同意書の提出 	■ 「奨学金確認書兼地方税同意書」の提出確認 ①「奨学金確認書兼地方税同意書」は予約採用申込時に提出しているので「提出しました」を選択してください。「提出していません」を選択すると、先に進めません。 ②規定等の確認 →「規定等を表示」ボタンを押して、規定等を確認し、「了承します」にチェックをし、「次へ」ボタンを押してください。 ※「次へ」ボタンは、規定等を確認し、「了承します」にチェックをした後でなければ押せません。

手順 9	■ 進学届下書き用紙内容の入力 進学届下書き用紙に記入した内容を入力してください。入力について分からないことがある場合は、進学先の大学院に問い合わせてください。  入力内容を途中で一時保存することができます。 ■ 進学届の提出 進学届の提出を再開する場合は、下の「進学届提出を再開する」ボタンを押してください。 進学届提出を再開する 入力の途中で一時保存して入力を中断し、提出が完了していない場合は、「進学届提出を再開する」ボタンが表示されます。 ■ 入力中の進学届の初期化 入力中の進学届の内容を取り消す場合は、下の「入力中の進学届の初期化」ボタンを押してください。 入力中の進学届の初期化 識別番号を誤って入力し学校情報が正しくない場合、「進学届提出メニュー」より「入力中の進学届の初期化」ボタンを押して、入力したデータを初期化することが必要です。 ※初期化をすることで入力を始めからやり直すことができます。 入力中の進学届の内容を取り消します。よろしいですか？ いいえ はい 本当に進学届の内容を取り消してよろしいですか？ 取り消し後はもとに戻すことはできません。 いいえ はい 
手順 10	■ 入力内容の確認・訂正・送信 入力が終了すると「進学届提出情報一覧」が表示されます。入力項目の確認・訂正を行う場合は、該当する項目の「確認・訂正する」ボタンを押してそれぞれの入力画面に戻り、確認・訂正を行い、「確定」ボタンを押してください。「進学届提出情報一覧」の内容に相違がなければ、「■ 重要事項確認（必須）」を全て確認したうえで「送信」ボタンを押してください。 ※一度「送信」ボタンを押すと再度入力することはできませんので、「送信」ボタンを押す前によく内容を確認してください。 ※送信内容の確認のために「進学届提出情報一覧」画面を保存（印刷、スクリーンショット等）することをお勧めします。 ※送信後に入力内容の誤りがある事が判明した場合は、進学先の大学院に相談してください。
手順 11	STEP1 確認書提出 STEP4 入学情報 STEP5 保証情報 STEP6 奨学金情報 STEP7 口座情報 STEP8 入学準備金 STEP9 進学届情報 STEP10 提出完了  進学届を送信すると、上記の画面が表示されます。 ※「メインメニューへ戻る」を押した後、「提出状況の確認」を押して提出が完了していることを確認してください。 ■ スカラネットに2回目以降にログインする場合 奨学金申込みのためにスカラネットに初めてログインされる方は「○奨学金の新規申込・進学届の提出」を、初回ログインが完了されている方は「○ログイン（アカウント情報登録済みの人）」をクリックしてください。 ○ 奨学金の新規申込・進学届の提出 ● ログイン（アカウント情報登録済みの人） ログイン画面へ 「ログイン（アカウント情報登録済みの人）」を選択し、登録完了時の「申込ID」と「採用候補者決定通知」の「進学届提出用パスワード」でログインします。

【入力制限】 ① 使用不可な文字 氏名は原則、住民票の記載のとおりに入力してください。ただし、次のⅠ～Ⅲの留意点があります。 Ⅰ 旧字体・異体字等は、機構のシステム上登録できない文字があります。この場合、常用字体・通用字体で表示されます（吉→吉、祐→祐、廣→廣 等）。 また、旧字体・異体字等の一部、対応できない文字があります。この場合、常用字体・通用字体で入力してください。対応する常用字体・通用字体が無い場合は、ひらがなで入力してください。 Ⅱ 読み方を表す「カナ氏名」には、カタカナの「ヲ」は使用できません。「オ」と入力してください。 Ⅲ 外国籍の人の氏名は、口座開設に用いた住民票の写しや在留資格証明書等の公的証明書類の記載をもとに、カタカナで入力してください。 （例）奨学 ジョン 太郎 → 【姓】 奨学 【名】 ジョン太郎 ・「姓」にファミリーネームを、「名」にファーストネームとミドルネームをまとめて入力してください。 ・氏名が全てカタカナの場合、漢字氏名欄・カナ氏名欄ともに、カタカナで入力してください（アルファベットの場合は使用できないため、カタカナに置き換えてください）。 ・（申込者本人のみ）銀行の振込口座が「名→姓」の順で登録されている場合には、例外的に振込口座に合わせて入力してください。 ② 文字数の制限 「漢字氏名」欄は姓・名それぞれ5文字まで、「カナ氏名」欄は姓・名それぞれ15文字まで入力できます。スペースは入力しないでください。 制限文字数を超える場合は、入力可能な文字数まで入力してください（名前が途中で途切れていてもかまいません）。漢字氏名欄は途中で入力を止め、カナ氏名欄でフルネームを入力してください。 ※全角漢字氏名欄に6文字以上入力するとエラーになり先に進めません。 カナ氏名欄は15文字まで入力できますので、フルネームを入力してください。 （例）Shougaku Thomas Michael Taro（ショウガクトマス マイケル タロウ） ・漢字氏名欄 【姓】 ショウガク 【名】 トーマスマ （「イケルタロウ」は切る） ・カナ氏名欄 【姓】 ショウガク 【名】 トーマスマイケルタロウ	
---	--

ご提供いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金貸与業務（返還業務を含む）のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報（奨学金の返還状況に関する情報を含む）が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。
--

【進学届入力内容記入欄】

第一種	後払い	第二種	進学届入力設問		進学届入力内容記入欄	
共通			STEP 1 「奨学金確認書兼地方税同意書」の提出			「提出しました」にチェックしてください。 ※⑤ページを確認してください。
共通			STEP 2 誓約			
			①誓約日 → 進学届を入力する日（西暦）	決定通知に記載された氏名 を記入してください。	年 月 日	
			②漢字氏名 → 姓・名は全角で各 5 文字以内			
			③カナ氏名 → 姓・名は全角で各15文字以内			
			※氏名に変更がある場合でも、ひとまず決定通知に記載されている氏名を入力してください。進学届提出後に、別途、改氏名等の手続きが必要です。速やかに進学先の大学院に申し出てください。			
第一種奨学金			STEP 3 奨学金申込情報			
			1. あなたは 第一種奨学金 の採用候補者です。			
			(1) 第一種奨学金の貸与等について選択してください。			
			☐ 第一種奨学金を希望		☐ 授業料後払い制度へ変更を希望	
			☐ 第一種奨学金を辞退			
			(a)あなたが希望する月額		☐ はい ・ ☐ いいえ	
			※「いいえ」を選択した場合はプルダウンメニューから希望の月額を 1 つ選択してください。			
			修士課程相当		博士課程相当	
			☐ 5万円 ☐ 8万8千円		☐ 8万円 ☐ 12万2千円	
			(b)第一種奨学金の貸与始期は 2026年4月 です。		☐ 確認しました	
			(c)あなたが希望する第一種奨学金の返還方式は 自動表示 方式ですね。		☐ はい ・ ☐ いいえ	
			※「いいえ」を選択した場合は異なる返還方式が表示されるのでチェックしてください。			
			※所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証」になります。			
			☐ 第一種奨学金を辞退 を選択した場合			
			第一種奨学金を辞退することになります。進学届提出後の辞退の取り消しはできません。			
			☐ 確認しました			
			☐ 授業料後払い制度へ変更を希望 を選択した場合⇒下記の授業料後払い制度の欄に入力してください。			
			第一種奨学金から授業料後払い制度へ変更する場合は授業料の納付等について進学先の大学院に相談してください。			
授業料後払い制度			1. あなたは 授業料後払い制度 の採用候補者です。			
			(1) 授業料後払い制度の貸与等について選択してください。			
			☐ 授業料後払い制度を希望		☐ 第一種奨学金へ変更を希望	
			☐ 授業料後払い制度を辞退			
			☐ 授業料後払い制度を希望 を選択した場合			
			(a)あなたが希望する生活費奨学金の月額		☐ はい ・ ☐ いいえ	
			※「いいえ」を選択した場合はプルダウンメニューから希望の月額を 1 つ選択してください。			
			生活費奨学金月額			
			☐ 0円 ☐ 2万円 ☐ 4万円			
			※授業料後払い制度のうち、授業料支援金の金額は学校が設定します。			
			(b)生活費奨学金の貸与始期は 2026年4月 です。		☐ 確認しました	
			※授業料支援金の貸与始期も同様です。			
			(c)返還方式は 所得連動返還方式 です。		☐ 確認しました	
			☐ 授業料後払い制度を辞退 を選択した場合			
			授業料後払い制度を辞退することになります。進学届提出後の辞退の取り消しはできません。			
			※辞退を希望する場合は授業料の納付等について進学先の大学院に相談してください。			
			☐ 第一種奨学金へ変更を希望 を選択した場合⇒上記の第一種奨学金の欄を参考に入力してください。			
			第一種奨学金から授業料後払い制度へ変更する場合は授業料の納付等について進学先の大学院に相談してください。			
第二種奨学金			1. あなたは 第二種奨学金 の採用候補者です。			
			(1) 第二種奨学金の貸与を希望しますか。			
			☐ はい ・ ☐ いいえ			
			☐ はい を選択した場合			
			(a)あなたが希望する月額		☐ はい ・ ☐ いいえ	
			※「いいえ」を選択した場合はプルダウンメニューから希望の月額を 1 つ選択してください。			
			第二種奨学金月額			
			☐ 5万円 ☐ 8万円 ☐ 10万円 ☐ 13万円 ☐ 15万円			
			採用候補者決定通知に記載されていますが、進学届上で変更可能です。			

第一種	後払い	第二種	進学届入力設問	進学届入力内容記入欄		
		第二種奨学金	(b)第二種奨学金の貸与始期は 2026年4月 です。	☐ 確認しました		
			■第二種奨学金を辞退する場合 (1) 第二種奨学金の貸与を希望しますか。 ○「いいえ」を選択した場合 「いいえ」を選択した場合、第二種奨学金を辞退することになります。進学届提出後の辞退の取り消しはできません。			☐ 確認しました
			■法科大学院希望増額月額 ※第二種奨学金の貸与月額で「15万円」を選択した人のみ表示されます (a)あなたが希望する月額は 15万円 です。			☐ はい ・ ☐ いいえ
			(b)あなたが希望する第二種奨学金の増額貸与は 自動表示 です。			☐ はい ・ ☐ いいえ
			〈「いいえ」を選択した場合〉 15万円の月額を選択した人のみ増額月額を希望することができます。 あなたは増額月額を希望しますか。 ☐ 〇4万円 ☐ 〇7万円 ☐ 〇希望しない			※(b)に自動表示されている金額以外を選択できます。また、予約申し込み時に増額貸与を希望しなかった場合でも、法科大学院の採用候補者が第二種奨学金の月額15万円を選択すると、増額貸与について選択できます。
			■第二種奨学金最高月額理由について ※「併用貸与」を希望する場合かつ、「第一種奨学金（授業料後払い制度含む）希望」と「第二種奨学金希望」について「はい」を選択した場合 (2) 第二種奨学金の貸与を希望しますか。			☒ はい ・ ☐ いいえ
			(a)あなたが希望する月額は 15万円 です。			☐ 「はい」を選択した場合
			※貸与月額について確認してください。 あなたは併用貸与を希望しています。併用貸与を受けると貸与総額及び毎月の返還額が多額となります。 この進学届を入力する際に適切な月額を選択してください。また、進学届提出手続き終了後も貸与月額が適切であるか再度確認してください。			
			※「第二種奨学金」の貸与を希望する場合かつ、第二種奨学金の希望月額が最高月額の場合			☐ 確認しました
			あなたは第二種奨学金の最高月額を選択しています。最高月額を必要とする理由を具体的に入力してください。（全角200文字以内） (注) 学校担当者から確認等を行う場合があります。 			
第一種奨学金		第二種奨学金	1. あなたは 第一種奨学金又は授業料後払い制度・第二種奨学金のいずれか一方 の採用候補者です。	授業料後払い制度は修士課程相当のみ利用できます。		
			(1) 希望する奨学金について選択してください。 ☐ 第一種奨学金を希望 ☐ 授業料後払い制度を希望 ☐ 第二種奨学金を希望 ☐ 奨学金を辞退			
			○「第一種奨学金を希望」を選択した場合⇒第一種奨学金の欄を参考に入力してください。（〔7〕ページ） ○「授業料後払い制度を希望」を選択した場合⇒授業料後払い制度の欄を参考に入力してください。（〔7〕ページ） ○「第二種奨学金を希望」を選択した場合⇒第二種奨学金の欄を参考に入力してください。（〔7〕・〔8〕ページ） ○「奨学金を辞退」を選択した場合 奨学金を辞退することになります。進学届提出後の辞退の取り消しはできません。			☐ 確認しました
			1. あなたは 第一種奨学金・第二種奨学金 の採用候補者です。			併用貸与採用候補者です。
			(1) 第一種奨学金の貸与等について選択してください。 ☐ 第一種奨学金を希望 ☐ 授業料後払い制度へ変更を希望 ☐ 第一種奨学金を辞退			
			○「第一種奨学金を希望」を選択した場合⇒第一種奨学金の欄を参考に入力してください。（〔7〕ページ） ○「授業料後払い制度へ変更を希望」を選択した場合⇒授業料後払い制度の欄を参考に入力してください。（〔7〕ページ）			
			(2) 第二種奨学金の貸与を希望しますか。			☐ はい ・ ☐ いいえ
			○「第二種奨学金を希望」を選択した場合⇒第二種奨学金の欄を参考に入力してください。（〔7〕・〔8〕ページ） 併用貸与を希望する場合は、以下のメッセージが表示されますので確認してください。 ※貸与月額について確認してください。 あなたは併用貸与を希望しています。併用貸与を受けると貸与総額及び毎月の返還額が多額となります。 この進学届を入力する際に適切な月額を選択してください。また、進学届提出手続き終了後も貸与月額が適切であるか再度確認してください。			☐ 確認しました
			○「第一種奨学金を辞退」を選択し、「第二種奨学金の貸与の希望」について「いいえ」を選択した場合（全ての奨学金を辞退する場合） (1) ☐ 第一種奨学金を辞退 第一種奨学金を辞退することになります。進学届提出後の辞退の取り消しはできません。			☐ 確認しました
			(2)第二種奨学金の貸与を希望しますか。 ☐ はい ・ ☒ いいえ			☐ 確認しました
「いいえ」を選択した場合、第二種奨学金を辞退することになります。進学届提出後の辞退の取り消しはできません。						

第一種	後払い	第二種	進学届入力設問	進学届入力内容記入欄
	授 業 料 後 払 い 制 度	第 二 種 奨 学 金	1. あなたは 授業料後払い制度・第二種奨学金 の採用候補者です。 (1) 授業料後払い制度の貸与等について選択してください。 ☐ 授業料後払い制度を希望 ☐ 第一種奨学金へ変更を希望 ☐ 授業料後払い制度を辞退 ○「授業料後払い制度を希望」を選択した場合⇒授業料後払い制度の欄を参考に入力してください。（17ページ） ○「第一種奨学金へ変更を希望」を選択した場合⇒第一種奨学金の欄を参考に入力してください。（17ページ） (2) 第二種奨学金の貸与を希望しますか。 ☐ はい ☐ いいえ ○「第二種奨学金を希望」を選択した場合⇒第二種奨学金の欄を参考に入力してください。（17・18ページ） 併用貸与を希望する場合は、以下のメッセージが表示されますので確認してください。 ※貸与月額について確認してください。 あなたは併用貸与を希望しています。併用貸与を受けると貸与総額及び毎月の返還額が多額となります。 この進学届を入力する際に適切な月額を選択してください。また、進学届提出手続き終了後も貸与月額が適切であるか再度確認してください。 ☐ 確認しました	併用貸与採用候補者です。
			○「授業料後払い制度を辞退」を選択し、「第二種奨学金の貸与の希望」について「いいえ」を選択した場合（全ての奨学金を辞退する場合） (1) ☐ 授業料後払い制度を辞退 授業料後払い制度を辞退することになります。進学届提出後の辞退の取り消しはできません。 ☐ 確認しました (2) 第二種奨学金の貸与を希望しますか。 ☐ はい ☒ いいえ 「いいえ」を選択した場合、第二種奨学金を辞退することになります。進学届提出後の辞退の取り消しはできません。 ☐ 確認しました	
第 一 種 奨 学 金	授 業 料 後 払 い 制 度		■特に優れた業績による返還免除内定制度申込者の方について (2)あなたは「大学院修士課程及び専門職学位課程進学予定者に係る特に優れた業績による返還免除内定制度」に申し込みましたか。 ※「第一種奨学金を希望」または「授業料後払い制度を希望」の場合のみ表示されます。 ☐ はい ☐ いいえ 「はい」と答えた人は、内定制度申込完了時の「受付番号」を入力してください。 -06GMN25- (半角数字)	
	共 通 （ 入 学 時 特 別 増 額 貸 与 奨 学 金 の 採 用 候 補 者 の み		■入学時特別増額貸与奨学金希望について 2. あなたは 入学時特別増額貸与奨学金 の採用候補者です。 (1) あなたは入学時特別増額貸与奨学金の貸与を希望しますか。 ☐ はい ☐ いいえ ※労働金庫から入学時必要資金融資（つなぎ融資）を受けている場合、入学時特別増額貸与奨学金は辞退できません。 ○「いいえ」を選択した場合 「いいえ」を選択した場合、入学時特別増額貸与奨学金を辞退することになります。進学届提出後の辞退の取り消しはできません。 ☐ 確認しました (2) あなたが希望する入学時特別増額貸与奨学金の金額は 自動表示 です。 ※予約申込時に希望した入学時特別増額貸与額が表示されています。変更を希望する場合は「いいえ」を選択し、変更したい額を選択し直してください。 ※労働金庫から入学時必要資金融資（つなぎ融資）を受けている場合、入学時特別増額貸与奨学金の貸与額は、入学時必要資金融資（つなぎ融資）より低い額は希望できません。 ○「いいえ」を選択した場合 あなたが希望する入学時特別増額貸与奨学金の金額を選択してください。 ☐ 10万円 ☐ 20万円 ☐ 30万円 ☐ 40万円 ☐ 50万円 ※上記で「自動表示」されている金額以外を、選択できます。	
			○採用候補者決定通知の「入学時特別増額貸与奨学金(有利子)」の欄に「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込：必要」と記載されている場合 (3) 入学時特別増額貸与奨学金は、あなたの保護者等※1が、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を申込等※2したものの、融資が受けられなかった場合に貸与を受けることができる制度であることを承知していますか。 ☐ 承知しています 入学時特別増額貸与奨学金の貸与を受けるためには、以下の内容を必ずあなたとあなたの保護者にご確認いただいたうえで、承知していただく必要があります。 ※1本人又は父母等となります。以下同じ。 ※2「国の教育ローン」で定める世帯の年間収入（所得）上限額を超えている、借入限度額を超えている等のため、融資の申込ができなかった場合も含みます。 (4) 次のどちらかをお選びください。 ☐ あなたの保護者等は、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を申込したが、審査の結果、融資を受けられなかった。 ☐ 日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を申込しようとしたが、申込要件に該当せず、申込できなかった。 ※窓口・電話・web等で断られたケースを指します。	

第一種	後払い	第二種	進学届入力設問	進学届入力内容記入欄		
共通（入学時特別増額貸与奨学金の採用候補者のみ）			○あなたの保護者等は、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を申し込んだが、融資を受けられなかった場合 (5) あなたの保護者等が、日本政策金融公庫から受領した「融資できない旨が記載された日本政策金融公庫発行の通知文」の日付を入力してください。 西暦（4桁） 年 月 日 ○日本政策金融公庫の「国の教育ローン」に申込できなかった場合 (5) あなたの保護者等が、申込できないこと※を日本政策金融公庫へ確認した日付を入力してください。 西暦（4桁） 年 月 日 ※「国の教育ローン」で定める世帯の年間年収(所得)上限額を超えている、借入限度額を超えている等のため、融資の申込ができなかったケースを指します。			
			(6) 上記の入力内容は、あなたの保護者等に確認しましたか。	☐ 確認しました		
			(7) 上記について、万が一虚偽申請であることが判明した場合は、入学時特別増額貸与奨学金の採用を取り消し、入学時特別増額貸与奨学金の全額を返済しなければならないことを承知していますか。	☐ 承知しています		
			※「融資できない旨が記載された日本政策金融公庫発行の通知文」をお持ちの方は、採用決定後一定期間大切に保管しておいてください。後日提出をいただき、申請内容に虚偽が無いことの確認を行う場合があります。			
		第二種奨学金（入増を含む）	■ 利率の算定方法について ○「第二種奨学金」の採用候補者の場合 3.あなたは第二種奨学金の採用候補者です。 あなたが希望する利率の算定方法は 自動表示 です。 ※「いいえ」を選択した場合は異なる利率の算定方式が表示されるのでチェックしてください。 ○「入学時特別増額貸与奨学金」の採用候補者の場合 3.あなたは入学時特別増額貸与奨学金の採用候補者です。 あなたが希望する利率の算定方法は 自動表示 です。 ※「いいえ」を選択した場合は異なる利率の算定方式が表示されるのでチェックしてください。 ○「第二種奨学金」及び「入学時特別増額貸与奨学金」の採用候補者の場合 3.あなたは入学時特別増額貸与奨学金の採用候補者です。 あなたが希望する利率の算定方法は 自動表示 です。 ※「いいえ」を選択した場合は異なる利率の算定方式が表示されるのでチェックしてください。	採用候補者決定通知に記載されていますが、進学届上で変更可能です。 採用候補者決定通知に記載されていますが、進学届上で変更可能です。		
			○「第二種奨学金」及び「入学時特別増額貸与奨学金」の希望を取り消した場合 3.利率の算定方式を取り消します。	○はい ・ ○いいえ		
共通			STEP 4 ③ あなたの在学情報 1.あなたの大学院名は 自動表示 です。 2.あなたの入学した大学院の学籍（学生証）番号を入力してください。（半角英数字記号） 学籍（学生証）番号が、まだ確定していない人はスペースのまま進んでください。 3.あなたの在学している課程は 自動表示 です。 4.あなたの在学している研究科は 自動表示 です。 ○異なる研究科に進学した場合 異なる研究科に進学した場合でも、ひとまず「はい」を選択し、進学届を提出後に進学先の大学院に申し出てください。 5.昼夜課程は 自動表示 です。 6.あなたの入学年月は 2026年4月 です。 7.あなたの修了（見込）予定年月は 自動表示 です。	○はい ・ ○いいえ ○はい ・ ○いいえ ○はい ・ ○いいえ ○はい ・ ○いいえ ○はい ・ ○いいえ ○はい ・ ○いいえ ○はい ・ ○いいえ		
第一種奨学金		第二種奨学金	STEP 5 ④ 保証制度 1.あなたが選択した保証制度は 人的保証 機関保証 です。 保証制度を変更したい場合は、「いいえ」を選択してください。 ○「いいえ」を選択し、機関保証制度を選択した場合 機関保証を選択します。 ※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です（一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。 ☐ 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。 ※第一種奨学金を希望する人が返還方式として所得連動返還方式を選択する場合や授業料後払い制度（所得連動返還方式）を選択する場合は、保証制度は「機関保証」となります。併用貸与の場合、第二種奨学金の保証制度はあらかじめ選択することができます。	採用候補者決定通知に記載されている保証制度が自動的に表示されます。進学届上で変更可能です。 進学届上での選択が、最終的な選択となります。		

第一種	後払い	第二種	進学届入力設問	進学届入力内容記入欄						
第一種奨学金		第二種奨学金	○「いいえ」を選択し、人的保証制度を選択した場合 人的保証を選択します。 ※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。 ☐ 制度の内容について承知し、人的保証を選択します。							
第一種奨学金			○申込区分が「第一種奨学金」で、返還方式が所得連動返還方式の場合 1.あなたが選択した保証制度は 機関保証 です。 所得連動返還方式を選択する場合、保証制度は「機関保証」になります。	○はい 併用貸与の場合、第二種奨学金の保証制度は別途選択できます。						
	授業料後払い制度		○授業料後払い制度を選択した場合 1.あなたが選択した保証制度は 機関保証 です。 授業料後払い制度を希望する場合、保証制度は「機関保証」のみになります。 ・授業料支援金は、授業料相当額に保証料相当額を加えた額が貸与額となります。そこから保証料を差し引いた額があなた又は学校の口座に振り込まれます。 ・生活費奨学金は、一定の保証料を差し引いた額が毎月あなたの口座に振り込まれます。	○はい 併用貸与の場合、第二種奨学金の保証制度は別途選択できます。						
共通			STEP 6 ⑤-貸与奨学金返還誓約書情報 1.あなたが申込時に入力したあなた自身に関する情報は以下のとおりです。 現時点において変更はないか確認してください。変更がある場合は、正しい情報を入力してください。 (1)あなたのお名前は 自動表示 さんですね。 (2)あなたは 自動表示 (性別) ですね。(変更する場合は「いいえ」を選択) (3)あなたの生年月日は 自動表示 ですね。(変更する場合は「いいえ」を選択) ○予約申込時に国籍：日本国を選択した場合 (4)国籍は 日本国 ですね。 ※「いいえ」を選択した場合、引き続き進学届の入力はできますが、進学届の提出が完了した後も、国籍変更後において要件を満たしていることがわかる証明書類を提出し、審査が完了するまで採用は保留されます。 ・国籍が「日本国以外」の場合、在留資格を選択してください。 ・現在の在留期間（満了日）を入力してください。 ・在留資格が「定住者」の場合、日本に永住する意思はありますか。 ※在留資格を「家族滞在」に変更する場合は、設問が表示されるので回答が必要です。 ○予約申込時に国籍：日本国以外を選択した場合 (4)国籍は 日本国以外 ですね。 ※「いいえ」を選択した場合、引き続き進学届の入力はできますが、進学届の提出が完了した後も、国籍変更後において要件を満たしていることがわかる証明書類を提出し、審査が完了するまで採用は保留されます。	※氏名に変更がある場合も、ひとまず「はい」を選択してください。改氏名の手続きについては、進学先の大学院に申し出てください。 ○はい ・ ○いいえ ○はい ・ ○いいえ ○はい ・ ○いいえ ○はい ・ ○いいえ ○はい ・ ○いいえ ○はい ・ ○いいえ ○はい ・ ○いいえ ○はい ・ ○いいえ ☐ 確認しました ブルダウンから選択してください 西暦 年 月 日 ○はい ・ ○いいえ ○はい ・ ○いいえ ☐ 確認しました						
第一種奨学金	授業料後払い制度		■第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）の再貸与について (5)あなたは第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）の再貸与を 「希望します」 ですね。 ○「はい」を選択した場合 これまでに今回申込と同一学種・同一課程で貸与を受けた第一種奨学金(授業料後払い制度を含む)の奨学生番号は以下でよろしいですか。 自動表示 ・第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）の再貸与を希望する人は、再貸与の制度を確認し、同意する場合のみ、進学届の提出を行ってください。 (注) 制度等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。 ※奨学生番号入力を誤った場合は正しい奨学生番号を入力してください。 第一種奨学金の再貸与制度とは？ 過去に第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）の貸与を受けた人が、同じ学校区分（下表(大学院の課程の区分)参照）で再度新たに第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）の貸与を受けることができる制度です。 ※大学や専修学校（専門課程）での貸与は該当しません。 ※過去に大学院で第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）の貸与を受けたことがない人や、修士・博士前期課程にて第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）の貸与を受けていた人が博士後期課程にて第一種奨学金を希望する場合は、再貸与制度には該当しません。 (大学院の課程の区分) <table><tr><td>学校区分</td><td>左の区分に含まれる課程等</td></tr><tr><td>修士課程相当</td><td>修士課程、博士前期課程、専門職大学院課程（法科大学院を含む）、一貫制博士課程前期相当分</td></tr><tr><td>博士課程相当</td><td>博士課程、博士後期課程、博士医・歯・薬・獣医学課程※、一貫制博士課程後期相当分 ※6年制薬学部基礎を置く薬学系大学院博士課程（4年制）については、博士医・歯・薬・獣医学課程として取り扱います。</td></tr></table>	学校区分	左の区分に含まれる課程等	修士課程相当	修士課程、博士前期課程、専門職大学院課程（法科大学院を含む）、一貫制博士課程前期相当分	博士課程相当	博士課程、博士後期課程、博士医・歯・薬・獣医学課程※、一貫制博士課程後期相当分 ※6年制薬学部基礎を置く薬学系大学院博士課程（4年制）については、博士医・歯・薬・獣医学課程として取り扱います。	「予約申込時に再貸与を希望していない場合は「希望しません」と表示されます。」 ○はい ・ ○いいえ ○はい ・ ○いいえ 再貸与の制度を表示 ☐ 同意します
学校区分	左の区分に含まれる課程等									
修士課程相当	修士課程、博士前期課程、専門職大学院課程（法科大学院を含む）、一貫制博士課程前期相当分									
博士課程相当	博士課程、博士後期課程、博士医・歯・薬・獣医学課程※、一貫制博士課程後期相当分 ※6年制薬学部基礎を置く薬学系大学院博士課程（4年制）については、博士医・歯・薬・獣医学課程として取り扱います。									

第一種	後払い	第二種	進学届入力設問				
共通	(6)あなたがこれまでに日本学生支援機構または日本育英会で貸与を受けたことがある奨学生番号は以下でよろしいですか。 奨学生番号が間違っている場合や、追加する場合は「いいえ」を選択してください。 自動表示 ○はい ・ ○いいえ 変更する場合は「いいえ」を選択してください。 これまで日本学生支援機構又は日本育英会で貸与を受けたことがない場合、又は他の団体や都道府県等の奨学金の貸与を受けていた場合は、入力不要です。 ○「いいえ」を選択した場合又は予約申込時に奨学生番号を入力していない場合、下記も記入してください。 これまで日本学生支援機構または日本育英会の奨学金の貸与を受けたことのある人は、その時の奨学生番号を記入してください。 ※貸与を受けた奨学金が複数ある場合は、「追加」ボタンを押して、すべての奨学生番号を記入してください。 ※返還が完了している奨学生番号は入力不要です。 奨学生番号 1 ▼ 削除追加 ※奨学生番号の記入を取り消す場合は、「削除」ボタンを押してください。 ○同一の学校区分で 2 回以上、第二種奨学金の貸与を受けている場合、下記も確認してください。 ※第二種奨学金の貸与について確認してください。 あなたは、これまでに同一の学校区分で2回以上、第二種奨学金の貸与を受けています。日本学生支援機構の規程により、これ以上第二種奨学金を申し込むことができない場合や借りられる期間が制限される場合があります。 ☐ 確認しました (7)あなたの現住所を入力してください ※申込者本人のマイナンバーを申込時に提出していない場合は、住民票の住所を入力してください。 ※郵便番号を入力して「住所検索」ボタンを押しても住所が自動入力されない場合は、郵便局ホームページから住所をもとに郵便番号を検索し、本画面に 入力してください。 郵便番号 (ハイフンなし・半角数字) 住所 1 (自動入力) (全角) 住所 2 (番地以降) (全角) (8)あなたの電話番号を入力してください。(ハイフンなし・半角数字) ※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。 電話番号 (ハイフンなし・半角数字) 携帯電話の電話番号 (ハイフンなし・半角数字) 記入例 1) 住所郵便番号1620845(Hyphenなし・半角数字) 住所 1 (自動入力)東京都新宿区市谷本村町 3 丁目(全角) 住所 2 (番地以降)1 0 - 7 育英ハイツA-1 0 1(全角) 電話番号03XXXXXXXXXX(Hyphenなし・半角数字) 携帯電話の電話番号090XXXXXXXXXX(Hyphenなし・半角数字) 「住所 1」は、郵便番号を入力し、表示される住所一覧の中から正しい住所を選択してください。 「住所 2」には、「住所 1」の続きの住所を記入してください。 ※入力の際は「住所 1」で表示された部分と重複していないことを確認してください。また、英数字やハイフン、スペースも全角で入力してください。 ※固定電話又は携帯電話のどちらか一方のみを使用している場合は、使用していない欄が空欄でも問題ありません。 ただし、両方とも空欄の場合はエラーメッセージが表示されます。 <tr><td rowspan="10">共通 (機関保証)</td><td colspan="3"> ■機関保証の場合 2.本人以外の連絡先について 「機関保証」を選択した人は、機構が本人と連絡が取れない場合に、機構から電話などによって本人の住所・電話番号等を照会できる人を入力する必要があります。以下を入力してください。 あなたは保証制度画面で「機関保証」を選択しています。あなた以外の連絡先について入力してください。 (1)あなたとの続柄 あなたからみた続柄です。(例) 父、母 (2)その氏名 姓名漢字氏名 名 姓と名は全角で各 5 文字以内 カナ氏名 姓と名は全角で15文字以内 (3)その生年月日(西暦)年 月 日生(半角) (4)その住所郵便番号 (ハイフンなし・半角数字) 住所 1 (自動入力) (全角) 住所 2 (番地以降) (全角) (5) その電話番号 (ハイフンなし・半角数字) その携帯電話の電話番号 (ハイフンなし・半角数字) ※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。 </td></tr> 12			共通 (機関保証)	■機関保証の場合 2.本人以外の連絡先について 「機関保証」を選択した人は、機構が本人と連絡が取れない場合に、機構から電話などによって本人の住所・電話番号等を照会できる人を入力する必要があります。以下を入力してください。 あなたは保証制度画面で「機関保証」を選択しています。あなた以外の連絡先について入力してください。 (1)あなたとの続柄 あなたからみた続柄です。(例) 父、母 (2)その氏名 姓名漢字氏名 名 姓と名は全角で各 5 文字以内 カナ氏名 姓と名は全角で15文字以内 (3)その生年月日(西暦)年 月 日生(半角) (4)その住所郵便番号 (ハイフンなし・半角数字) 住所 1 (自動入力) (全角) 住所 2 (番地以降) (全角) (5) その電話番号 (ハイフンなし・半角数字) その携帯電話の電話番号 (ハイフンなし・半角数字) ※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。		
	共通 (機関保証)	■機関保証の場合 2.本人以外の連絡先について 「機関保証」を選択した人は、機構が本人と連絡が取れない場合に、機構から電話などによって本人の住所・電話番号等を照会できる人を入力する必要があります。以下を入力してください。 あなたは保証制度画面で「機関保証」を選択しています。あなた以外の連絡先について入力してください。 (1)あなたとの続柄 あなたからみた続柄です。(例) 父、母 (2)その氏名 姓名漢字氏名 名 姓と名は全角で各 5 文字以内 カナ氏名 姓と名は全角で15文字以内 (3)その生年月日(西暦)年 月 日生(半角) (4)その住所郵便番号 (ハイフンなし・半角数字) 住所 1 (自動入力) (全角) 住所 2 (番地以降) (全角) (5) その電話番号 (ハイフンなし・半角数字) その携帯電話の電話番号 (ハイフンなし・半角数字) ※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。					

第一種	後払い	第二種	進学届入力設問																														
共通（人的保証）			■ 人的保証の場合 2. 連帯保証人と保証人について あなたは保証制度画面で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。 連帯保証人及び保証人の続柄に関しては、続柄確認用画面を表示のボタンを押して表示される画面を参考に入力してください。 (1) 連帯保証人について入力してください ・原則として、父母、兄弟姉妹又はおじ・おば等4親等以内の成年親族にしてください。（父母がいる場合は父母にしてください） ・未成年者等保証能力がない人は認められません。 ・債務整理（破産等）中の人を連帯保証人に選任することは認められません。 ※ 連帯保証人・保証人が選任の要件に合致するか判断がつかない場合は、必ず進学届提出前に進学先の大学院に相談してください。 (a) あなたの続柄 あなたからみた続柄です。（例）父、母 (b) その氏名 <table border="0"> <tr> <td>姓</td> <td> </td> <td>名</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>漢字氏名</td> <td> </td> <td></td> <td>←姓と名は全角で各5文字以内</td> </tr> <tr> <td>カナ氏名</td> <td> </td> <td></td> <td>←姓と名は全角で15文字以内</td> </tr> </table> (c) その生年月日 (西暦) 年 月 日生 (半角) (d) その住所 連帯保証人の印鑑登録証明書（市区町村発行）に記載されている住所を入力してください。 ※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。 ⑫ページの記入例1）も参考にして、正確にもれなく記入してください。 郵便番号 (ハイフンなし・半角数字) 住所1（自動入力） (全角) 住所2（番地以降） (全角) (e) その電話番号 (ハイフンなし・半角数字) ※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。 その携帯電話の電話番号 (ハイフンなし・半角数字) (f) その勤務先名 (全角) その勤務先電話番号 (ハイフンなし・半角数字) ※連帯保証人が無職の場合は、右記にチェックを入力してください。 ☐ 無職 記入例2） 勤務先名を記入してください。 <table border="0"> <tr> <td>その勤務先名</td> <td> </td> <td>(全角)</td> </tr> <tr> <td>その勤務先電話番号</td> <td> </td> <td>(ハイフンなし・半角数字)</td> </tr> </table> ※勤務先がない場合は「無職」欄にチェックしてください。また、自営業の場合は勤務先名に「自営業」と、農業の場合は「農業」と記入してください。 (2) 保証人について（人的保証）※記入例1）及び記入例2）を参考にし、正確にもれなく記入してください。 ・原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。 ・債務整理（破産等）中の人を保証人に選任することは認められません。 (a) あなたの続柄 あなたからみた続柄です。（例）おじ、おば ※以下の場合は「その他（知人等）」と記入（選択）してください。 ・離婚した父母・本人が養子縁組している場合の実父母・配偶者の父母（義父母）。 (b) その氏名 <table border="0"> <tr> <td>姓</td> <td> </td> <td>名</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>漢字氏名</td> <td> </td> <td></td> <td>←姓と名は全角で各5文字以内</td> </tr> <tr> <td>カナ氏名</td> <td> </td> <td></td> <td>←姓と名は全角で15文字以内</td> </tr> </table> (c) その生年月日 (西暦) 年 月 日生 (半角) (d) その住所 保証人の印鑑登録証明書（市区町村発行）に記載されている住所を入力してください。 ※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。 郵便番号 (ハイフンなし・半角数字) 住所1（自動入力） (全角) 住所2（番地以降） (全角)	姓		名		漢字氏名			←姓と名は全角で各5文字以内	カナ氏名			←姓と名は全角で15文字以内	その勤務先名		(全角)	その勤務先電話番号		(ハイフンなし・半角数字)	姓		名		漢字氏名			←姓と名は全角で各5文字以内	カナ氏名			←姓と名は全角で15文字以内
			姓		名																												
			漢字氏名			←姓と名は全角で各5文字以内																											
			カナ氏名			←姓と名は全角で15文字以内																											
			その勤務先名		(全角)																												
			その勤務先電話番号		(ハイフンなし・半角数字)																												
			姓		名																												
			漢字氏名			←姓と名は全角で各5文字以内																											
			カナ氏名			←姓と名は全角で15文字以内																											

第一種	後払い	第二種	進学届入力設問																																																								
共通	奨学金振込口座情報 ○奨学金を受け取れる口座かどうか下記の6点を確認してください。 口座情報に間違いがあると奨学金の初回振込が大幅に遅れることがあります。 <table><tr><td>①採用候補者本人以外の口座は使用できません。採用候補者本人の口座です。 ※労働金庫の入学時必要資金融資（つなぎ融資）を受けている人は、労働金庫の口座から変更できません。 ※3か月以内に新設の支店は選択できない場合があります。</td><td>☐ 確認しました</td></tr><tr><td>②銀行等の普通預金または、ゆうちょ銀行の通常貯金口座です。 ※貯蓄預金口座には振込むことができません。</td><td>☐ 確認しました</td></tr><tr><td>③採用候補者本人のカナ氏名と通帳などの口座名義人（カナ）が同じです。</td><td>☐ 確認しました</td></tr><tr><td>④金融機関名および口座番号と支店名（ゆうちょ銀行以外の場合）、または記号と番号（ゆうちょ銀行の場合）は正しいです。</td><td>☐ 確認しました</td></tr><tr><td>⑤この口座は休眠口座になっていません（過去1年以内に通帳記入ができた）、かつ解約していない口座です。</td><td>☐ 確認しました</td></tr><tr><td>⑥信託銀行、農協、外資系銀行、SBI新生銀行、あおぞら銀行、インターネット専業銀行等は振込みできません。 ※機構取扱金融機関であれば、インターネット支店は利用できます。</td><td>☐ 確認しました</td></tr></table> ■重要事項確認（必須） 以下の事項を確認し、理解している場合は「はい」、理解していない場合は「いいえ」を選んでください。 <table><tr><th>奨学金における確認事項</th><th>はい 理解している</th><th>いいえ 理解していない</th></tr><tr><td>1 在学中の学業成績や家計状況が基準を満たさない場合、奨学金（授業料後払い制度の支援を含みます。以下同じ。）が受けられなくなることがあります。</td><td>☐ はい</td><td>☐ いいえ</td></tr><tr><td>2 奨学金貸与中に様々な届出や報告などを求めることがあります。必要な手続きを行わない場合、奨学金の振込が遅れたり、止まったりする可能性があります。</td><td>☐ はい</td><td>☐ いいえ</td></tr><tr><td>3 奨学金は、あなた本人に返還の義務があり、締め切り日までに返還誓約書を提出しなければなりません。提出しない場合、採用が取り消されます。 また、借りの金額が大きいと返すときの負担も大きくなります。貸与月額は、月々必要となる金額をよく考えて選ぶ必要があります。 なお、授業料後払い制度を利用している場合、そのうち授業料の支援の額は、学校が設定します。</td><td>☐ はい</td><td>☐ いいえ</td></tr><tr><td>4 奨学金の返還を延滞すると、延滞金が賦課されます。延滞が長くなると法的措置等が行われることがあります。 また、奨学金の返還が困難になった場合は、願い出により、毎月の返還額を2/3、1/2、1/3又は1/4に減額し返還期間を延長する「減額返還制度」や、一定期間返還期限を先延ばしする「返還期限猶予制度」を利用できる場合があります。 ※「減額返還制度」は、「所得連動返還方式」を選択した第一種奨学金と、授業料後払い制度は対象外です（利用できません）。</td><td>☐ はい</td><td>☐ いいえ</td></tr></table> 以上の内容に相違がなければ、下の「送信」ボタンを押してください。 ○進学届提出後の内容確認／提出状況を確認する 再ログインして、「進学届提出メニュー」の「提出内容の確認」ボタンから自分が入力した内容を確認できます。 進学届提出メニュー あなたは 機構 学 さんですね。 お知らせ 現在お知らせメッセージはありません。 進学届の提出 進学届の提出は完了しています。 提出内容を確認する場合は、下の「提出内容の確認」ボタンを押してください。 提出内容の確認 提出状況 提出状況を確認する場合は、下の「提出状況の確認」ボタンを押してください。 提出状況の確認 再ログインして、[提出状況の確認]ボタンから奨学金の採用状況を確認できます（最終的な結果については、学校にてご確認ください）。 <table><tr><th>現在の提出状況</th><th>詳細</th></tr><tr><td>進学届提出済</td><td>進学届提出が完了しました。</td></tr><tr><td colspan="2">■更新履歴</td></tr><tr><th>あなたの提出状況</th><th>更新日時</th><th>確認</th></tr><tr><td>採用予定</td><td>20XX/07/21 10:26:05</td><td>採用内容（予定）</td></tr><tr><td>進学届提出済</td><td>20XX/07/19 12:26:05</td><td></td></tr><tr><td>進学届入力中</td><td>20XX/07/19 10:26:05</td><td></td></tr></table> 採用内容詳細 ※最終的な選考結果については、学校にてご確認ください。 第一種奨学金：採用予定 <table><tr><td>奨学主番号</td><td>6XX06000001</td></tr><tr><td>採育期間（予定）</td><td>20XX年4月～20XX年3月</td></tr><tr><td>返済方式</td><td>所得連動返済方式</td></tr><tr><td>保証制度</td><td>無保証</td></tr><tr><td>初回返還予定日</td><td>20XX年4月XX日</td></tr></table> ※画像は2025年12月現在のものであり、実際の画面と異なる場合があります。				①採用候補者本人以外の口座は使用できません。採用候補者本人の口座です。 ※労働金庫の入学時必要資金融資（つなぎ融資）を受けている人は、労働金庫の口座から変更できません。 ※3か月以内に新設の支店は選択できない場合があります。	☐ 確認しました	②銀行等の普通預金または、ゆうちょ銀行の通常貯金口座です。 ※貯蓄預金口座には振込むことができません。	☐ 確認しました	③採用候補者本人のカナ氏名と通帳などの口座名義人（カナ）が同じです。	☐ 確認しました	④金融機関名および口座番号と支店名（ゆうちょ銀行以外の場合）、または記号と番号（ゆうちょ銀行の場合）は正しいです。	☐ 確認しました	⑤この口座は休眠口座になっていません（過去1年以内に通帳記入ができた）、かつ解約していない口座です。	☐ 確認しました	⑥信託銀行、農協、外資系銀行、SBI新生銀行、あおぞら銀行、インターネット専業銀行等は振込みできません。 ※機構取扱金融機関であれば、インターネット支店は利用できます。	☐ 確認しました	奨学金における確認事項	はい 理解している	いいえ 理解していない	1 在学中の学業成績や家計状況が基準を満たさない場合、奨学金（授業料後払い制度の支援を含みます。以下同じ。）が受けられなくなることがあります。	☐ はい	☐ いいえ	2 奨学金貸与中に様々な届出や報告などを求めることがあります。必要な手続きを行わない場合、奨学金の振込が遅れたり、止まったりする可能性があります。	☐ はい	☐ いいえ	3 奨学金は、あなた本人に返還の義務があり、締め切り日までに返還誓約書を提出しなければなりません。提出しない場合、採用が取り消されます。 また、借りの金額が大きいと返すときの負担も大きくなります。貸与月額は、月々必要となる金額をよく考えて選ぶ必要があります。 なお、授業料後払い制度を利用している場合、そのうち授業料の支援の額は、学校が設定します。	☐ はい	☐ いいえ	4 奨学金の返還を延滞すると、延滞金が賦課されます。延滞が長くなると法的措置等が行われることがあります。 また、奨学金の返還が困難になった場合は、願い出により、毎月の返還額を2/3、1/2、1/3又は1/4に減額し返還期間を延長する「減額返還制度」や、一定期間返還期限を先延ばしする「返還期限猶予制度」を利用できる場合があります。 ※「減額返還制度」は、「所得連動返還方式」を選択した第一種奨学金と、授業料後払い制度は対象外です（利用できません）。	☐ はい	☐ いいえ	現在の提出状況	詳細	進学届提出済	進学届提出が完了しました。	■更新履歴		あなたの提出状況	更新日時	確認	採用予定	20XX/07/21 10:26:05	採用内容（予定）	進学届提出済	20XX/07/19 12:26:05		進学届入力中	20XX/07/19 10:26:05		奨学主番号	6XX06000001	採育期間（予定）	20XX年4月～20XX年3月	返済方式	所得連動返済方式	保証制度	無保証	初回返還予定日	20XX年4月XX日
	①採用候補者本人以外の口座は使用できません。採用候補者本人の口座です。 ※労働金庫の入学時必要資金融資（つなぎ融資）を受けている人は、労働金庫の口座から変更できません。 ※3か月以内に新設の支店は選択できない場合があります。	☐ 確認しました																																																									
	②銀行等の普通預金または、ゆうちょ銀行の通常貯金口座です。 ※貯蓄預金口座には振込むことができません。	☐ 確認しました																																																									
	③採用候補者本人のカナ氏名と通帳などの口座名義人（カナ）が同じです。	☐ 確認しました																																																									
	④金融機関名および口座番号と支店名（ゆうちょ銀行以外の場合）、または記号と番号（ゆうちょ銀行の場合）は正しいです。	☐ 確認しました																																																									
	⑤この口座は休眠口座になっていません（過去1年以内に通帳記入ができた）、かつ解約していない口座です。	☐ 確認しました																																																									
	⑥信託銀行、農協、外資系銀行、SBI新生銀行、あおぞら銀行、インターネット専業銀行等は振込みできません。 ※機構取扱金融機関であれば、インターネット支店は利用できます。	☐ 確認しました																																																									
	奨学金における確認事項	はい 理解している	いいえ 理解していない																																																								
	1 在学中の学業成績や家計状況が基準を満たさない場合、奨学金（授業料後払い制度の支援を含みます。以下同じ。）が受けられなくなることがあります。	☐ はい	☐ いいえ																																																								
	2 奨学金貸与中に様々な届出や報告などを求めることがあります。必要な手続きを行わない場合、奨学金の振込が遅れたり、止まったりする可能性があります。	☐ はい	☐ いいえ																																																								
3 奨学金は、あなた本人に返還の義務があり、締め切り日までに返還誓約書を提出しなければなりません。提出しない場合、採用が取り消されます。 また、借りの金額が大きいと返すときの負担も大きくなります。貸与月額は、月々必要となる金額をよく考えて選ぶ必要があります。 なお、授業料後払い制度を利用している場合、そのうち授業料の支援の額は、学校が設定します。	☐ はい	☐ いいえ																																																									
4 奨学金の返還を延滞すると、延滞金が賦課されます。延滞が長くなると法的措置等が行われることがあります。 また、奨学金の返還が困難になった場合は、願い出により、毎月の返還額を2/3、1/2、1/3又は1/4に減額し返還期間を延長する「減額返還制度」や、一定期間返還期限を先延ばしする「返還期限猶予制度」を利用できる場合があります。 ※「減額返還制度」は、「所得連動返還方式」を選択した第一種奨学金と、授業料後払い制度は対象外です（利用できません）。	☐ はい	☐ いいえ																																																									
現在の提出状況	詳細																																																										
進学届提出済	進学届提出が完了しました。																																																										
■更新履歴																																																											
あなたの提出状況	更新日時	確認																																																									
採用予定	20XX/07/21 10:26:05	採用内容（予定）																																																									
進学届提出済	20XX/07/19 12:26:05																																																										
進学届入力中	20XX/07/19 10:26:05																																																										
奨学主番号	6XX06000001																																																										
採育期間（予定）	20XX年4月～20XX年3月																																																										
返済方式	所得連動返済方式																																																										
保証制度	無保証																																																										
初回返還予定日	20XX年4月XX日																																																										

ご案内



ホームページの便利なコンテンツ

<https://www.jasso.go.jp>

奨学金

検索

日本学生支援機構のホームページにおいて、随時情報を提供しています。奨学金に関するお問合せは、まず、ホームページをご覧ください。

奨学金貸与・返還シミュレーション

貸与奨学金の種類、貸与月額、利率などさまざまな条件で、将来の返還額や返還回数の試算ができます。



スカラネット・パーソナル（スカラPS）

あなた個人の奨学金情報の閲覧や継続願等の手続きを行うことができるシステムです。採用されたら必ず新規登録してください。



奨学金相談サイト

奨学金のよくある疑問や質問をチャットボット等で解決できるQ&Aサイトです。お電話でのお問合せの前に、是非ご活用ください。



スカラネットのログイン方法

スカラネットのログイン方法などの動画を掲載しています。



地方公共団体や企業による奨学金返還支援

奨学金の返還額の一部または全額を支援している地方公共団体・企業があります。詳しくは日本学生支援機構のホームページにて確認してください。

地方公共団体による奨学金の返還支援（地方創生）



企業による奨学金返還支援（代理返還）



申込みに関するお問合せ先

日本学生支援機構奨学金相談センター

奨学金に関する一般的なお問合せの相談窓口です。



0570-666-301

ナビダイヤル
全国共通

月曜日～金曜日 9:00～20:00（土・日・祝日・年末年始を除く）

【申込情報の保護について】

進学届の提出は、インターネット（スカラネット）により行います。

日本学生支援機構では、ネットワーク上での電子データ授受のセキュリティを確保するために「認証局」に加入し、インターネットでの情報の漏洩や盗難については最新の暗号化通信方式を採用することによって、高度なセキュリティ対策をとっています。

※「認証局」

ネットワーク上での通信相手が、本物であることを証明するためのデジタル証明書を発行する第三者機関で、デジタル情報に対してデータそのものの正当性の確認や、持ち主や送り主の確認のために必要な機関です。